



オプション設定

- [Packaged CCE 2000 エージェント展開用のオプションの設定 \(1 ページ\)](#)
- [Packaged CCE 4000 および 12000 エージェント展開用のオプションの設定 \(10 ページ\)](#)
- [Packaged CCE ラボ展開のオプションの設定 \(23 ページ\)](#)

Packaged CCE 2000 エージェント展開用のオプションの設定

Packaged CCE 2000 エージェントの導入用オプション コンポーネントを設定します。

| |
|--|
| タスク |
| リモート サイトの追加および保全 (1 ページ) |
| 外部マシンの追加と保守 (6 ページ) |
| メディア ルーティング ペリフェラル ゲートウェイへの PIM の追加 (8 ページ) |
| 電子メールおよびチャットの設定 (10 ページ) |
| Cisco Unified Customer Voice Portal Reporting Server の設定 |
| VVB の設定 |

リモート サイトの追加および保全

2000 エージェントの展開タイプに、リモート サイトを新規追加することができます。追加されたリモート サイトは、それぞれ個別のタブとして表示されます。+ アイコンをクリックして、[リモート サイトの追加](#) ポップアップ ウィンドウを開きます。詳細については、「[リモート サイトの追加 \(2 ページ\)](#)」を参照してください。

リモートサイトの追加

手順

ステップ 1 Unified CCE > 管理 > インフラストラクチャのインベントリに移動します。

ステップ 2 +アイコンをクリックして、**リモートサイトの追加** ページを開きます。

ステップ 3 **CCE PG** 画面で、以下のフィールドにリモートサイトの情報を入力します。

| フィールド | 説明 |
|----------------------------|--|
| 名 | <p>サイトの名前を入力します。最大文字数は10文字です。英数字、ピリオド (.)、およびアンダースコア (_) が有効な文字となります。最初の文字は英数字にする必要があります。</p> <p>(注) 「core」、「main」、「site」等のシステム専用語は使用できません。</p> |
| サイド A の PG ホスト名または IP アドレス | <p>サイド A のホスト名、IP アドレス、または完全修飾ドメイン名 (FQDN) を入力します。</p> |
| サイド B の PG ホスト名または IP アドレス | <p>サイド B のホスト名、IP アドレス、または完全修飾ドメイン名 (FQDN) を入力します。</p> |
| 設定する PG クライアントタイプの選択 | <p>必要な周辺機器ゲートウェイのクライアントタイプを選択します。この後の画面は、選択したオプション毎に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • エージェントを選択すると、Unified CM および Finesse の画面が表示されます。 • VRUを選択すると、CVP 画面が表示されます。 • マルチチャネルを選択すると、設定 画面が表示されます。 |

(注) システムは IP アドレスの変更をサポートしていません。IP アドレスの変更が予想される場合は、ホスト名を使用します。これはすべての **ホスト名および IP アドレス** フィールドに適用されます。

ステップ 4 [次へ (Next)] をクリックします。この後の画面は、選択した PG クライアントタイプのオプション毎に表示されます。

ステップ 5 **Unified CM** ページで、既存のパブリッシャを選択するか、または新しいパブリッシャを追加することができます。パブリッシャを選択すると、関連付けられたサブスクリバが表示され、サブスクリバの詳細を選択することができます。新しいパブリッシャを追加するには、以下の手順を実行します。

- 新しい **CM** パブリッシャの追加を選択します。
- ホスト名、ユーザ名、およびパスワードを入力します。
- [保存 (Save)] をクリックします。

(注) リモートサイトの作成時に、CMパブリッシャを1つだけ追加することができます。

ステップ 6 サブスクライバセクションで、エージェントの周辺機器の以下の接続設定を選択します。

- サイド A 接続
- サイド B 接続
- モバイル エージェント コーデック

ステップ 7 [次へ (Next)]をクリックします。

ステップ 8 **Finesse** ページで、**Finesse** プライマリ サーバのホスト名、ユーザ名、およびパスワードを入力します。

ステップ 9 [次へ (Next)]をクリックします。

ステップ 10 **CVP** ページで、サイド A およびサイド B の **CVP** サーバのホスト名または IP アドレス、ユーザ名、およびパスワードを入力します。

ステップ 11 [次へ (Next)]をクリックします。
システムが以下の設定タスクを実行します。

| コンポーネント | 自動設定タスク |
|--------------------------------|---|
| Unified CCE PG | <p>エージェント</p> <ul style="list-style-type: none"> • Unified Communications Manager から JTAPI をダウンロードし、Unified CCE PG にインストールします。 • CUCM PIM を使用して CUCM ペリフェラル ゲートウェイ (PG) を作成します。 • CTI サーバを作成します。 <p>VRU : 2 つの VRU PIM で VRU PG を作成します。</p> <p>マルチチャネル : マルチチャネル PG を作成します。</p> |
| Unified CCE Rogger | サイトの一環で作成された新しい PG でルータ設定を更新します。 |
| Unified Communications Manager | <ul style="list-style-type: none"> • エージェント PG の設定に使用されるアプリケーション ユーザを作成します。 |
| Finesse | <ul style="list-style-type: none"> • CTI サーバ設定を設定します。 • AW データベースへの接続を設定します。 |
| Unified Customer Voice Portal | <ul style="list-style-type: none"> • Unified CVP コール サーバ コンポーネントを設定し、メイン サイトのレポート サーバに追加します。 • Unified CVP VXML サーバのコンポーネントを設定します。 • Unified CVP Media Server のコンポーネントを設定します。 |

(注) 自動化された初期化タスクの1つが失敗すると、システムは完了したすべてのタスクを元に戻します。

ステップ 12 すべてのタスクが完了したら、**完了** をクリックします。設定エラーがある場合は、**戻る** をクリックして、前のページを編集することができます。

ステップ 13 設定を有効にするには、以下の手順を実行します。

- ルータ サービスを再起動します。
- PG クライアント タイプを VRU として選択した場合は、新しく設定した 2 つの CVP コール サーバ を再起動します。

次のタスク



(注) Agent PG を使用して設定されたすべてのリモート サイトに対して、Finesse 自己署名証明書を AW マシンに追加する必要があります (ソリューションに CA 証明書がない場合)。AW マシンに Finesse 証明書を追加する方法の詳細については、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/customer-collaboration/packaged-contact-center-enterprise/products-installation-guides-list.html> の *Cisco Unified Contact Center Enterprise* インストールおよびアップグレードガイド を参照してください。

再設定 リモート サイト

手順

ステップ 1 Unified CCE 管理 > インフラストラクチャ > インベントリに移動します。

ステップ 2 再設定する場合は、サイトをクリックします。

ステップ 3 再設定 をクリックして、CCE PG ページを開きます。

(注) 追加できるのは、PG クライアント タイプのみです。

ステップ 4 次へ をクリックして、新しいリモートサイトを追加する場合と同様の手順を実行します。

詳細は [リモートサイトの追加 \(2 ページ\)](#) を参照してください。

[削除 (Delete)]リモート サイト

以下がリモートサイトに関連付けられていない場合は、リモートサイトを削除することができます。

- エージェント

- チーム
- ダイヤル番号
- スキル グループ
- ルート パターン
- SIP サーバ グループ (SIP Server Groups)
- ロケーション
- Script
- ダイヤラ



(注) リモートサイトの削除を開始する前に、リモートサイトの Finesse サーバで実行されるすべてのサービスおよびプロセスを手動で停止する必要があります。

リモートサイトで CVP が設定されている場合は、リモートサイトを削除する前に以下のタスクが完了していることを確認します。

- CVP レポート サーバからの CVP サーバへの関連付けを解除します。
- サイト固有のレポートサーバが、で使用されている場合は、レポートサーバを別のレポートサーバで置き換えます。



(注) リモートサイトの削除後、Packaged CCE ID を ORM.properties ファイルから削除します。

手順

ステップ 1 Unified CCE 管理 > インフラストラクチャ > インベントリに移動します。

ステップ 2 削除する場合は、リモートサイトをクリックします。

ステップ 3 [削除 (Delete)] をクリックします。

リモートサイトの削除を確認するメッセージが表示されます。

ステップ 4 確認のために [はい (Yes)] をクリックします。

リモートサイトは **インベントリ** ページから削除されます。

(注) この削除操作では、リモートサイトのオブジェクトはデータベースからは完全には削除されません。同じ名前のサイトを再度作成する場合は、**Configuration Manager > ツール > その他のツール > 削除したオブジェクト** を選択し、上記オブジェクトを完全に削除する必要があります。

外部マシンの追加と保守

外部マシンの追加

で設定されたPGタイプに基づき、以下の外部マシンを追加することができます。

- エージェント：なし
- VRU：Unified CVP レポートサーバ、仮想化音声ブラウザ、ゲートウェイ、および Unified SIP プロキシ
- マルチチャネル：サードパーティ マルチチャネル、エンタープライズ チャットおよび電子メール、SocialMiner

マルチチャネルアプリケーション（SocialMiner、エンタープライズチャットおよび電子メール、サードパーティ マルチチャネル）を使用している場合は、システム インベントリの外部マシンに追加します。

手順

-
- ステップ 1** インベントリ ページで、メインサイトまたはリモートサイトを選択し、**外部マシン** セクションで、+アイコンをクリックします。
 - ステップ 2** **タイプ** ドロップダウンリストで、マシン タイプを選択します。
 - ステップ 3** 選択したマシン タイプの **ホスト名** フィールドに、ホスト名、IP アドレス、または完全修飾ドメイン名 (FQDN) を入力します。

(注) 入力した値はシステムによって FQDN に変換されます。
システムは IP アドレスの変更をサポートしていません。IP アドレスの変更が予想される場合は、ホスト名を使用します。
 - ステップ 4** マシンの **管理** セクションで、選択したコンピュータ タイプの管理ユーザ名およびパスワードを入力します。
 - ステップ 5** **[保存 (Save)]** をクリックします。

- (注)
- 電子メールおよびチャット :
 - Configuration Manager ツールでは、アプリケーション インスタンスおよびアプリケーション パスが作成され、CUCM PG に関連付けられます。
 - LDAP 設定は、ECE 管理 Web インターフェイスのシングルサインオン（パーティション管理者用）を使用して実行する必要があります。詳細については、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/customer-collaboration/cisco-enterprise-chat-email/products-maintenance-guides-list.html>のエンタープライズチャットおよび電子メール 管理者ガイドを参照してください。
 - **VVB** : VVB を追加すると、システムはマシンを OOS としてマークします。自動同期（10 分毎）待つか、手動同期を行います。
 - **SocialMiner** : SocialMiner を追加すると、システムは関連付けられたキャンペーンや CCE への接続の通知など、タスクルーティングで使用する SocialMiner タスク フィードを自動的に作成します。

外部マシンの編集

インベントリ ページで、メイン サイトあるいはリモート サイトを選択し、鉛筆のアイコンをクリックして、以下のマシンを編集します。

| マシン | 編集可能なフィールド |
|--------------------------------------|--|
| Unified CM パブリッシャ | AXL ユーザ名およびパスワード。 |
| SocialMiner | 管理者ユーザ名およびパスワード |
| エンタープライズチャットおよび電子メール、サードパーティ マルチチャネル | <ul style="list-style-type: none"> • Web サーバ : パーティション管理者のユーザ名およびパスワードを編集します。 • データ サーバ : なし |
| Virtualized Voice Browser | 管理者ユーザ名およびパスワード |
| Unified SIP Proxy | 管理者ユーザ名およびパスワード |
| ゲートウェイ | 管理者ユーザ名およびパスワード |
| Unified CVP レポートティング | Windows 管理者のクレデンシャル |

メインサイトまたはリモートサイトの外部マシンを削除するには、マシンの上の **x** をクリックします。削除を確認します。



- (注)
- 仮想化音声ブラウザ、Unified SIP プロキシ外部マシンは、SIP サーバグループに関連付けられている場合、削除することができません。上記の外部マシンを削除するには、SIP サーバグループとの関連付けを解除する必要があります。
 - ゲートウェイ外部マシンは、その場所に関連付けられている場合は、削除することはできません。上記外部マシンを削除するには、ゲートウェイのその場所への関連付けを解除する必要があります。
 - Unified CM パブリッシャを削除した場合、Unified CM サブスクリバも自動的に検出され、[展開の設定] のポップアップ ウィンドウが開きます。展開内の Unified CM パブリッシャの名前、IP アドレスおよび AXL ユーザ名と AXL パスワードを入力します。

メディアルーティングペリフェラルゲートウェイへのPIMの追加

メディアルーティングペリフェラルゲートウェイ (MR PG) は、自動初期化中に作成されます。

MR PG の PIM の作成はオプションです。メディアルーティングペリフェラルゲートウェイには最大 4 つの PIM を作成できます。

- アウトバウンド PIM
- SocialMiner に対するマルチチャネル PIM
- エンタープライズチャットおよび電子メール用のマルチチャネル PIM (ECE)
- サードパーティのマルチチャネルアプリケーションに対するマルチチャネル PIM

マルチチャネル PIM に関連付けられているダイヤル番号を作成するには、最初に次の作業を行います。

- ペリフェラルゲートウェイセットアップを使用して PIM を作成します。
- Unified CCE 管理システムを使用して、ソリューションインベントリに外部マシンを追加します。概要 > インフラストラクチャ > インベントリに移動します。下方向にスクロールして、外部マシンの追加をクリックします。



- (注) ECE データサーバがオンボックスで導入されている場合は、PIM に関連付けられたダイヤル番号を作成する必要はありません。



(注) アウトバウンド PIM およびマルチチャネル PIM の追加の手順については、https://www.cisco.com/en/US/products/ps12586/prod_maintenance_guides_list.html で *Cisco Packaged Contact Center Enterprise* 機能ガイドを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/customer-collaboration/cisco-enterprise-chat-email/products-installation-guides-list.html> で 『*Enterprise Chat and Email Installation Guide (for Packaged Contact Center Enterprise)*』 を参照してください。

マルチチャネル PIM の追加



注意 コンポーネント間の安全な接続を有効にする手順を実行する前に、セキュリティ証明書管理プロセスが完了していることを確認してください。

手順

- ステップ 1 周辺機器ゲートウェイコンポーネントのプロパティ ウィンドウで、**追加**をクリックします。
- ステップ 2 クライアント タイプ ドロップダウンリストで、**メディアルーティング**を選択します。
- ステップ 3 利用可能な **PIMS** リストで、**MR PIM1**を選択し、**OK**をクリックします。
- ステップ 4 設定 ダイアログ ボックスで、**有効化** チェック ボックスをオンにします。
- ステップ 5 周辺機器名 フィールドに、周辺機器名を入力します。
- ステップ 6 周辺機器 ID フィールドに、論理コントローラ ID を入力します。
- ステップ 7 アプリケーション ホスト名 (1) フィールドに、ECE サービス サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。
- ステップ 8 アプリケーション接続ポート (1) フィールドに、ポート番号を入力します。

(注) アプリケーションとの通信に PIM が使用する ECE サービス サーバ上のポート番号を使用します。デフォルト ポートは 38001 です。
- ステップ 9 アプリケーション ホスト名 (2) フィールドは空白のままにします。
- ステップ 10 アプリケーション 接続ポート (2) フィールドは空白のままにします。
- ステップ 11 ハートビート間隔 (秒) フィールドに、**5**と入力します。
- ステップ 12 再接続間隔 (秒) フィールドに、**10**と入力します。
- ステップ 13 安全な接続の有効化 オプションをオンにします。

これで、MR PIM とアプリケーション サーバ間の安全な接続が確立されます。

アプリケーションのホスト名 (1) とアプリケーションの接続ポート (1) のフィールドには、必ず正しい情報を入力してください。

ステップ 14 [OK] をクリックします。

電子メールおよびチャットの設定

ECE 設定ページを Unified CCE 管理で表示するには、以下の操作を実行します。

手順

ステップ 1 ECE 管理 Web インターフェイスで LDAP を設定します。

詳細については、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/customer-collaboration/cisco-enterprise-chat-email/products-maintenance-guides-list.html> のエンタープライズチャットおよび電子メール管理ガイドの「シングルサインオン（パーティション管理者向け）」を参照してください。

ステップ 2 Unified CCE 管理の証明書を受け入れます。以下の手順を実行します。

- a) Web ブラウザの [アドレス バー] に `https://<fqdn of ecewebserver>` を入力します。
- b) 証明書を受け入れます。
- c) Unified CCE 管理 ページを再読み込みします。

Packaged CCE 4000 および 12000 エージェント展開用のオプションの設定

Packaged CCE 4000 または 12000 エージェントの導入用オプション コンポーネントを設定します。

| |
|--|
| タスク |
| リモート サイト (11 ページ) |
| マシン (14 ページ) |
| 周辺機器セット (20 ページ) |
| メディアルーティング ペリフェラル ゲートウェイへの PIM の追加 (8 ページ) |
| 電子メールおよびチャットの設定 (10 ページ) |
| Cisco Unified Customer Voice Portal Reporting Server の設定 |
| VVB の設定 |

| |
|---------------------------------|
| タスク |
| PCCE 4000 または 12000 でサポートされるツール |

リモート サイト

リモート サイトには少なくとも 1 つの周辺機器セットが必要です。追加したリモート サイトは、それぞれ個別のタブとして表示されます。

リモート サイトの追加と保守

手順

- ステップ 1 Unified CCE 管理 > インフラストラクチャ > インベントリに移動します。
- ステップ 2 + アイコンをクリックして、リモート サイトを追加します。
- ステップ 3 リモート サイト名を入力します。
- ステップ 4 テンプレートのダウンロードをクリックします。
- ステップ 5 ファイルの詳細を入力して保存します。

表 1: CSV テンプレートの詳細

| カラム | 説明 | 必須かどうか | 許容値 |
|-----------|------|--------|--|
| 名前 (Name) | マシン名 | はい | 名前の先頭はアルファベットにする必要があります。A~Z、0~9、ドット(.)、またはハイフン(-) がサポートされています。最大長は 128 文字です。 |

| カラム | 説明 | 必須かどうか | 許容値 |
|---------------|----------------|--------|---|
| マシンタイプ | マシンタイプ 列挙体名 | はい | 必須マシン : <ul style="list-style-type: none"> • CVP • FINESSE_PRIMARY • FINESSE_SECONDARY • CM_PUBLISHER • CM_SUBSCRIBER • CCE_PG オプションのマシン : <ul style="list-style-type: none"> • ECE (ECE データ サーバを参照) • ECE_WEB_SERVER • CVP_REPORTING • GATEWAY • CVVB • CUSP • THIRD_PARTY_MULTICHANNEL |
| publicAddress | パブリック アドレス | はい | 有効な IP アドレス |

| カラム | 説明 | 必須かどうか | 許容値 |
|----------------|------------|--|--|
| connectionInfo | マシンの接続情報 | CM_PUBLISHER、FINESSE_PRIMARY、ECE_WEB_SERVER、CVP、CVP_REPORTING、CUSP、ゲートウェイに対して必須です。 | <p>userName=<user@domain.com> &password=<pass>&port=<1234></p> <p>(注) ユーザ名は「administrator」です。</p> <p>(注)</p> <ul style="list-style-type: none"> • ユーザ名は「administrator」です。 • ポートはオプションとなります。ポートを指定しない場合は、デフォルトのポートが使用されます。アンパサンド (&) および等号 (=) が、ユーザ名文字列とパスワード文字列で使用され、URLエンコーディングを使用してエンコードする必要があります。 • CCE_AW および EXTERNAL_HDS のデフォルトポートは、7890、CUIC_PUBLISHER、IDS_PUBLISHER、LIVE_DATA、CM_PUBLISHER、FINESSE_PRIMARY は、8443、CVP および CVP_REPORTING は、8111、EXTERNAL_CVVB、EXTERNAL_SOCIAL_MINER、および ECE_WEB_SERVER は、443 です。 • ECE_WEB_SERVER のアプリケーションインスタンスを指定します。 |
| privateAddress | プライベートアドレス | CCE_PG に対して必須です。 | 有効な IP アドレス |

| カラム | 説明 | 必須かどうか | 許容値 |
|-------------------|----------|----------------------------|--|
| peripheralSetName | 周辺機器セット名 | PG、CUCM、Finesse、CVP に必須です。 | 名前はアルファベット (A ~ Z) または数字 (0 ~ 9) で開始することができます。ドット (.) またはハイフン (-) を含むことができます。最大長は 10 文字です。 |
| side | サイド情報 | はい | sideA sideB |

ステップ6 ファイルをアップロードして、**次へ**をクリックします。

ステップ7 検証が完了するまで待機して、**完了**をクリックします。検証が失敗した場合は**戻る**をクリックしてファイル内の問題を修正し、再度アップロードします。
これでリモートサイトが作成され、[インベントリ]ページのタブとして表示されます。

リモートサイトの削除

始める前に

リモートサイトを削除するには、以下が必要です。

- リモートサイトに関連付けられているすべての SIP サーバグループ、ルートで、すべてのパス、および場所を削除します。
- リモートサイトに関連付けられている周辺機器セットを削除します。
- CVP サーバおよびに対する CVP サーバの関連付けを解除します。

手順

ステップ1 Unified CCE 管理 > インフラストラクチャ > インベントリに移動します。

ステップ2 削除するリモートサイトを選択し、**削除 > 現在のサイト**をクリックします。
リモートサイトがインベントリから削除されます。

マシン

4000 エージェントおよび 12000 エージェントの展開タイプのメインサイトおよびリモートサイトのマシンを設定することができます。

マシンの追加と保守

手順

- ステップ1 **Unified CCE 管理** > **インフラストラクチャ** > **インベントリ**に移動します。
- ステップ2 マシンを追加するには、**インポート** > **デバイス**に移動します。
- ステップ3 テンプレートの**ダウンロード**をクリックします。
- ステップ4 ファイルの詳細を入力して保存します。

表 2: CSVテンプレートの詳細

| カラム | 説明 | 必須かどうか | 許容値 |
|-----------|------|--------|---|
| 名前 (Name) | マシン名 | はい | 名前の先頭はアルファベットにする必要があります。A～Z、0～9、ドット(.)、またはハイフン(-)がサポートされています。最大長は128文字です。 |

| カラム | 説明 | 必須かどうか | 許容値 |
|---------------|--------------------|--------|---|
| マシンタイプ | マシンタイプ 列挙 体名 | はい | <ul style="list-style-type: none"> • AW • HDS • ECE (ECE 1500 エージェント用の ECE 400 エージェントおよびサービスサーバ用の ECE データサーバを参照してください) • ECE_WEB_SERVER • CVP • CVP_REPORTING • CM_PUBLISHER • CM_SUBSCRIBER • FINESSE • FINESSE_PRIMARY • FINESSE_SECONDARY • GATEWAY • CVVB • CUSP • SOCIAL_MINER • THIRD_PARTY_MULTICHANNEL <p>(注)</p> <ul style="list-style-type: none"> • HDS、AW、CUIC_SUBSCRIBER は、メインサイトにのみ適用できます。 • FINESSE と CM を同時に追加しません。 |
| publicAddress | パブリック アドレス | はい | 有効な IP アドレス |

| カラム | 説明 | 必須かどうか | 許容値 |
|-------------------|----------|--|--|
| connectionInfo | マシンの接続情報 | CM_PUBLISHER、FINESSE_PRIMARY、ECE_WEB_SERVER、CVP、CVP_REPORTING、CUSP、ゲートウェイに対して必須です。 | userName=<user@domain.com> &password=<pass>&port=<1234> (注) <ul style="list-style-type: none"> • ユーザ名は「administrator」です。 • ポートはオプションとなります。ポートを指定しない場合は、デフォルトのポートが使用されます。アンパサンド (&) および等号 (=) が、ユーザ名文字列とパスワード文字列で使用され、URLエンコーディングを使用してエンコードする必要があります。 • CCE_AW および EXTERNAL_HDS のデフォルトポートは、7890、CUIC_PUBLISHER、IDS_PUBLISHER、LIVE_DATA、CM_PUBLISHER、FINESSE_PRIMARY は、8443、CVP および CVP_REPORTING は、8111、EXTERNAL_CVVB、EXTERNAL_SOCIAL_MINER および ECE_WEB_SERVER は、443 です。 |
| peripheralSetName | 周辺機器セット名 | CUCM、Finesse、CVP では必須です。 | 名前はアルファベット (A ~ Z) または数字 (0 ~ 9) で開始することができます。ドット (.) またはハイフン (-) を含むことができます。最大長は 10 文字です。 |
| side | サイド情報 | はい | sideA sideB |

ステップ5 ファイルをアップロードして、**次へ**をクリックします。

ステップ6 検証が完了するまで待機して、**完了**をクリックします。検証が失敗した場合は **戻る** をクリックしてファイル内の問題を修正し、再度アップロードします。

マシンの編集

この手順を使用して、任意のマシンのクレデンシャルを編集することができます。

手順

ステップ1 インベントリ ページで、[メイン サイト]あるいは[リモート サイト]をクリックして、以下のマシンを編集します。

| マシン | 編集可能なフィールド |
|---------------------------|--|
| AW | 診断フレームワークサービスのドメイン、ユーザ名、およびパスワード。 プリンシパル AW マシンを設定することもできます。 このクレデンシャルは、すべての CCE マシンで同じである必要があります。 |
| ライブ データ | 管理者ユーザ名およびパスワード |
| Finesse | 管理者ユーザ名およびパスワード |
| SocialMiner | 管理者ユーザ名およびパスワード |
| ECE Web サーバ | アプリケーション インスタンス、管理者ユーザ名、およびパスワード |
| Virtualized Voice Browser | 管理者ユーザ名およびパスワード |
| CUSP | 管理者ユーザ名およびパスワード |
| CUIC | 管理者ユーザ名およびパスワード |
| CVP | Windowsクレデンシャル |
| ゲートウェイ | 管理者ユーザ名およびパスワード |

| マシン | 編集可能なフィールド |
|-------------------|---|
| CVP レポート | Windows クレデンシヤル 展開 チェック ボックスは、CVP レポート サーバの設定を初期化します。初期化によって、既存のコール サーバの関連付けおよび設定は削除されます。 コール サーバを CVP レポート サーバに再度関連付けするには、 Unified CVP レポート サーバの設定 を参照してください。 サービス コールバック を設定するには、 サービス コールバック を参照してください。 |
| IDS | 管理者ユーザ名およびパスワード |
| Unified CM パブリッシャ | AXL ユーザ名およびパスワード。 |

ステップ 2 クレデンシヤルを編集します。

正常に実行された場合は、**インベントリ** ページにメッセージが表示されます。それ以外の場合は、**保存** をクリックする前に表示されたエラーを修正します。

マシンの削除

次のマシン タイプを削除することができます。CCE_AW、HDS、CVP_REPORTING、CUIC_SUBSCRIBER、CUSP、ゲートウェイ、CVVB、EXTERNAL_THIRD_PARTY_MULTICHANNEL、DC_EXTERNAL_THIRD_PARTY_MULTICHANNEL

手順

ステップ 1 マシンを個別に削除するには、特定の行を選択して、行の最後にある**削除** アイコンをクリックします。

ステップ 2 [はい (Yes)] をクリックします。

削除が正常に実行されると、マシンが正常に削除されたことを示すメッセージが表示されます。削除に失敗した場合は、再度削除を試みる前に、エラーメッセージを確認し、問題を解決してください。

周辺機器セット

周辺機器セットは、例えば、Finesse、CVP、周辺機器ゲートウェイ（周辺機器ゲートウェイ自体を含む）に依存するすべてのコンポーネントのコレクションです。メインサイトには0個以上の周辺装置が設定可能ですが、リモートサイトには少なくとも1つの周辺機器セットが関連付けられている必要があります。

周辺機器セットの追加と保守

手順

- ステップ1 Unified CCE 管理 > インフラストラクチャ > インベントリに移動します。
- ステップ2 インポート > 周辺機器セットに移動して、周辺機器セットを追加します。
新しい周辺機器セットウィザードが開きます。
- ステップ3 テンプレートのダウンロードをクリックします。
- ステップ4 ファイルの詳細を入力して保存します。

表 3: CSVテンプレートの詳細

| カラム | 説明 | 必須かどうか | 許容値 |
|---------------|----------------|--------|---|
| 名前 (Name) | マシン名 | はい | 名前の先頭はアルファベットにする必要があります。A ~ Z、0 ~ 9、ドット (.)、またはハイフン (-) がサポートされています。最大長は 128 文字です。 |
| マシンタイプ | マシンタイプ 列挙体名 | はい | 必須サイト： <ul style="list-style-type: none"> • CVP • FINESSE_PRIMARY • FINESSE_SECONDARY • CM_PUBLISHER • CM_SUBSCRIBER • CCE_PG |
| publicAddress | パブリック アドレス | はい | 有効な IP アドレス |

| カラム | 説明 | 必須かどうか | 許容値 |
|-------------------|------------|--|---|
| connectionInfo | マシンの接続情報 | CM_PUBLISHER、FINESSE_PRIMARY、ECE_WEB_SERVER、CVP、CVP_REPORTING、CUSP、ゲートウェイに対して必須です。 | <p>userName=<user@domain.com> &password=<pass>&port=<1234></p> <ul style="list-style-type: none"> • ユーザ名は「administrator」です。 • ポートはオプションとなります。ポートを指定しない場合は、デフォルトのポートが使用されます。アンパサンド (&) および等号 (=) が、ユーザ名文字列とパスワード文字列で使用され、URL エンコーディングを使用してエンコードする必要があります。 • CCE_AW および EXTERNAL_HDS のデフォルトポートは、7890、CUIC_PUBLISHER、IDS_PUBLISHER、LIVE_DATA、CM_PUBLISHER、FINESSE_PRIMARY は、8443、CVP および CVP_REPORTING は、8111、EXTERNAL_CVVB、EXTERNAL_SOCIAL_MINER、および ECE_WEB_SERVER は、443 です。 • ECE_WEB_SERVER のアプリケーションインスタンスを指定します。 |
| privateAddress | プライベートアドレス | 任意 | 有効な IP アドレス |
| peripheralSetName | 周辺機器セット名 | PG、CUCM、Finesse、CVP に必須です。 | <p>名前はアルファベット (A～Z) または数字 (0～9) で開始することができます。ドット (.) またはハイフン (-) を含むことができます。最大長は 10 文字です。</p> <p>(注) 名前は一意である必要があります。周辺機器セットが削除された後でも、再利用することはできません。</p> |

| カラム | 説明 | 必須かどうか | 許容値 |
|------|-------|--------|----------------|
| side | サイド情報 | はい | sideA sideB |

ステップ5 ファイルをアップロードして、**次へ**をクリックします。

ステップ6 検証が完了するまで待機して、**完了**をクリックします。検証が失敗した場合は **戻る** をクリックしてファイル内の問題を修正し、再度アップロードします。

- (注)
- エージェント PG および PIM は、Finesse および CUCM が存在する場合にのみ作成されます。
 - VRU PG および PIM は、CVP が存在する場合にのみ作成されます。
 - 一度に作成できる周辺機器セットは1つのみです。

次のタスク

PG 設定を実行します。 [Cisco Unified Contact Center Enterprise PG の設定](#) を参照してください

周辺機器セットの削除

メイン サイトまたはリモート サイトに関連付けられている周辺機器セットを削除することができます。

始める前に

周辺機器セットを削除するには、エージェント、スキルグループ、チーム、およびダイアル済番号に関連付けられた番号を削除しなければなりません。

手順

ステップ1 **Unified CCE 管理 > インフラストラクチャ > インベントリ** に移動します。

ステップ2 削除するメイン サイトまたはリモート サイトから周辺機器を選択して、**削除 > 周辺機器セットの削除** をクリックします。

<site name> からの周辺機器セットの削除 ポップアップ ウィンドウが表示されます。

ステップ3 **周辺機器セット** ドロップダウンリストで周辺機器セットを選択します。

ステップ4 **削除** をクリックします。

ステップ5 別の周辺機器セットを削除するには、**戻る** をクリックします。それ以外の場合は、**完了** をクリックして、インベントリ ページに戻ります。

Packaged CCE ラボ展開のオプションの設定

ラボモードのリモートサイト

ラボモード展開でリモートサイトを作成することができます。ラボモードをシンプルレックスで初期化する場合は、サイド A のマシンでのみリモートサイトを作成することができます。



(注) ラボモード展開では、リモートサイトの再構成はサポートされていません。

ラボモードの展開でリモートサイトを追加する方法については、[リモートサイトの追加および保全 \(1 ページ\)](#) を参照してください。

シンプルレックスまたはデュプレックスのラボモード展開の設定時に、以下の外部マシンも追加することができます。

- Unified CM パブリッシャ
- Unified CVP Reporting Server
- Unified SIP Proxy
- Virtualized Voice Browser
- ゲートウェイ
- SocialMiner
- MediaSense
- エンタープライズ チャットおよび電子メール
- サードパーティ マルチチャネル

リモートサイトの外部マシンを追加、編集、または削除する手順については、[外部マシンの追加 \(6 ページ\)](#) および [外部マシンの編集 \(7 ページ\)](#) セクションを参照してください。

